



2023年度 LIP. 横浜トライアル助成金 交付対象事業(10事業)が決定

「^{リップ}LIP. 横浜トライアル助成金」は、健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指し、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用いただける助成金です。

この度、市内スタートアップ・中小企業、大学・研究機関等が取り組む事業を支援するため、10事業(交付予定額1,465万円)を交付対象事業として決定しました。

今後、LIP. 横浜の会員などとのマッチングや販路開拓により、スタートアップ・中小企業の支援を積極的に進め、オープンイノベーションの実現につなげてまいります。

(※) 本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

【交付対象事業】

■中小企業が取り組む事業(6事業)

事業名	スマホアタッチメント型眼科医療機器による眼科オンライン相談システムの実証				
事業内容	専門医と繋げ眼病の早期発見・早期受診と参加者の眼の健康意識向上を促し、全ての人に適切な眼科医療を届け失明を減らすシステムを確立するため、開発したスマホアタッチメント型医療機器で眼科スクリーニングを行う。				
申請者	株式会社 OUI (OUI Inc.) (保土ヶ谷区)	共同研究先	横浜けいあい眼科	交付予定額	144万円
事業名	世界初の骨格筋治療薬を目指す、SVペプチドの研究・開発				
事業内容	筋肉の萎縮や損傷から発生する様々な病気、特に下肢筋肉が過剰に減少して歩行が困難になり、健康寿命が損なわれている高齢者の運動機能を改善する医薬品を開発する。				
申請者	株式会社 Elixir Pharma (都筑区)	共同研究先	大阪大学	交付予定額	200万円
事業名	ハイドロゲルを用いた鏡視下手術のための手技練習用粘膜モデルの開発				
事業内容	ハイドロゲルを用いて、既存手法では再現が難しい粘膜に発生した癌切除手術練習用のリアルな質感の粘膜モデルを開発する。				
申請者	ゲルサイエンス合同会社 (保土ヶ谷区)	共同研究先	—	交付予定額	194万円
事業名	歩行リハビリステーションシステムの開発				
事業内容	脳卒中による歩行障害になった方の短期間でのリハビリ効果を最大限にひき出すためのロボティクス・VRによる歩行リハビリ効果最大化推進を目的とした歩行リハビリステーションを開発する。				
申請者	ニイガタ株式会社 (鶴見区)	共同研究先	筑波大学	交付予定額	200万円

事業名	尿中の葉酸を簡便に測定し、疾患予防に活用する技術の開発				
事業内容	日常生活において葉酸を含めた各種の栄養素摂取の状況を把握しやすくすることで、動脈硬化や認知症の予防を目指すため、尿中の葉酸量を手軽に測定できる技術を開発する。				
申請者	株式会社ユーグレナ（鶴見区）	共同研究先	株式会社ユーリア	交付予定額	168 万円
事業名	空間認知が苦手な人のための歩行トレーニングアプリの開発				
事業内容	移動の苦手を解決し、ガイド人材不足を解決するため、場所や利用者に熟知する人がイヤホンを使って聴覚で無人案内する、スマホの GPS と連動した音声 AR ナビを開発する。				
申請者	L00VIC 株式会社（港北区）	共同研究先	社会福祉法人 横浜市リハビリ テーション事業団	交付予定額	159 万円

■大学や研究機関等が取り組む事業（4 事業）

事業名	2次元正弦波微細構造を有するフレキシブル導電体の開発と医用デバイスへの展開				
事業内容	個別化医療、遠隔医療の普及に貢献する、皮膚や臓器に直接貼付できるストレスフリーなバイオセンサを開発するため、基盤技術となり得る曲げ伸ばし可能な導電体を開発する。				
申請者	慶應義塾大学 理工学部 塚田 孝祐 教授	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	可視化Ⅰ型コラーゲンによる、コラーゲン分泌制御関連製品の機能評価および新規成分スクリーニング系のプラットフォーム構築				
事業内容	コラーゲンを可視化する技術を活用して、既存のコラーゲン関連製品機能評価および、コラーゲンを維持・増加させる新成分開発のためのプラットフォームを構築する。				
申請者	東京工業大学 生命理工学院 田中 利明 助教	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	重症心身障害児の育ちを支える「コミュニケーション支援 AI」の開発および持続的な運用法の確立				
事業内容	重い障害を持つ子ども（重症心身障害児）の意思を可視化しコミュニケーションを支援する人工知能（AI）技術を開発し、成長を支える持続可能なシステムを構築する。				
申請者	横浜市立大学医学部看護学科 小児看護学 佐藤 朝美 教授	共同研究先	早稲田大学	交付予定額	100 万円
事業名	小型ダイレクトドライブモーターを応用した、ロボット支援手術における新規触覚伝達ロボット鉗子、および多軸ロボット操作アームの動態制御を利用した手術数値化に基づくロボット手術シミュレーターの革新的同時開発				
事業内容	ロボット支援手術の技術を飛躍的に向上させるため、特殊なモーターを用いて、ロボット鉗子への触覚付与、エキスパート手術の数値化に基づいた手術鍛錬シミュレーターの構築という異なる 2 課題の同時克服に挑戦する。				
申請者	横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 伊藤 悠城 助教	共同研究先	マイクロテック・ ラボラトリー 株式会社	交付予定額	100 万円

※ 事業名は申請書の内容に基づいて掲載しています。共同研究先は見込みも含まれます。また、正式名称は一部省略しています。

※ カテゴリごとの掲載順については、五十音順としています。

オープンイノベーションの推進

横浜市は、「ヨコハマ・クロスオーバー（YOXO）」を旗印として、オープンイノベーションを推進するプラットフォーム「I・TOP横浜」によるAI・IoT等の先端技術を活用した新たなビジネスの創出や、「LIP.横浜」による健康・医療分野に関する新製品・新技術の開発を促進しています。

さらに、2つのプラットフォームの共通分野であるデジタルヘルスケア分野において、革新的な技術や研究成果をビジネス化するための支援をしています。

「I・TOP横浜」と「LIP.横浜」の2つのプラットフォームを相互に連携させることで、市内に集積する多様な企業や大学、研究機関等の組織や領域を超えたオープンイノベーションを推進し、AI・IoT等及び健康・医療分野での新事業の創出等を目指しています。



お問合せ先

(LIP.横浜に関すること)	経済局産業連携推進課長	岩船 広	TEL : 045-671-2574
(助成事業に関すること)	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長	広瀬 貴生	TEL : 045-502-4810

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。